

北陸電力が新たに開発する水力発電所から 北陸新幹線へ電力供給するオフサイト PPA の締結

西日本旅客鉄道株式会社（以下、ＪＲ西日本）と北陸電力株式会社（以下、北陸電力）は、再生可能エネルギー由来電力（以下、再エネ電力）を北陸新幹線に供給する、オフサイト PPA に関する基本合意書を締結しました。

この取り組みは、北陸電力が新たに開発する「花立（はなたて）発電所」で発電した再エネ電力の全量をＪＲ西日本の北陸新幹線の運転用電力として供給するものです。

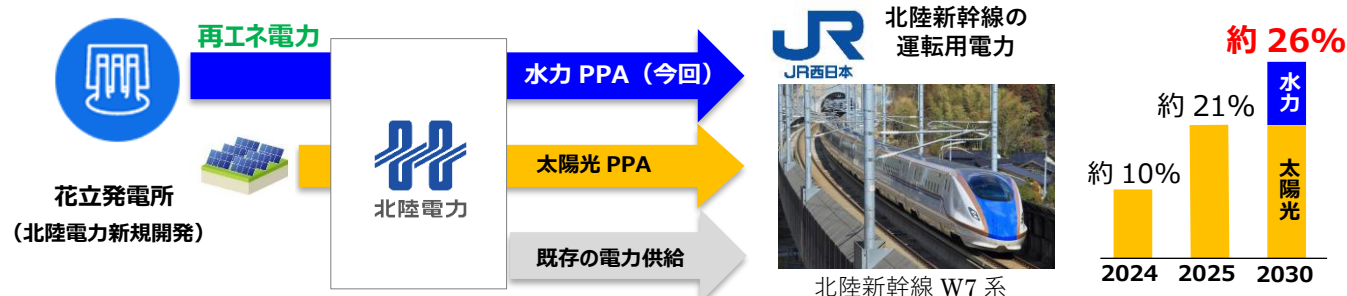
先行して導入している再エネ電力導入量（太陽光発電によるオフサイト PPA）についても供給規模の拡大を行いました。これらを合わせると、北陸新幹線全体の運転用電力の約 26% 相当が再エネ電力に置き換えられ、CO₂ 削減量は約 27,800 t / 年（一般家庭約 10,700 世帯分相当）となります。

今後も、ＪＲ西日本と北陸電力は、環境に配慮した継続的な事業活動に取り組むとともに、更なる CO₂ 排出量削減の推進を通じて、脱炭素社会の実現および地域社会の持続的な発展に貢献してまいります。

新たに開発する水力発電所の概要

名称	花立発電所
供給線区	北陸新幹線：糸魚川駅～敦賀駅間(北陸電力送配電供給エリア)
所在地	石川県小松市、大日川（手取川支流）
導入規模	発電出力：2,000kW 発電電力量：約 1,130 万 kWh / 年 (供給線区の運転用電力約 5% 相当)
CO ₂ 削減量	約 5,000 t / 年※ (一般家庭約 1,900 世帯分相当)
今後の予定	2026 年工事着工、2030 年頃供給開始

※ 2023 年度電気事業者別排出係数の全国平均で算出



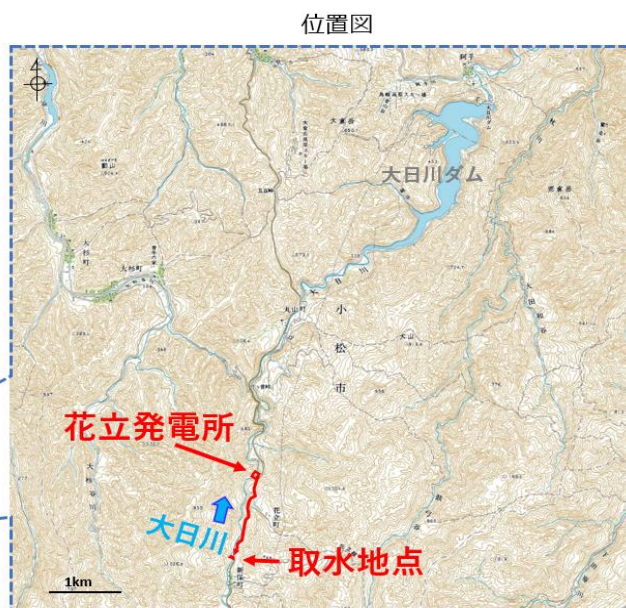
[本件のオフサイト PPA※取り組みのイメージ]

※PPA：Power Purchase Agreement（電力購入契約）の略称

今回ご案内の取り組みは、SDGs の 17 のゴールのうち、特に 7 番、11 番、13 番および 17 番に貢献するものと考えています。

<参考> 北陸電力が新たに開発する水力発電所の位置とイメージ図

花立発電所 新設計画の概要	
名 称	はなたち 花 立 発 電 所
所在地	石川県小松市 花立町・新保町・丸山町地内
水系・河川	手取川水系・大日川
発電所出力	2,000kW
最大使用水量	3.3m ³ /s
最大時有効落差	70.5m
発電電力量	約1,130万kWh／年
発電方式	水路式
供給開始時期	2026年工事着工 2030年頃供給開始予定



出典：国土地理院地形図



取水設備建設予定地（河川上流から見たイメージ）



発電所建設予定地（河川上流から見たイメージ）

<参考> 北陸電力の再エネ電力によるオフサイトPPA拡大状況

供給線区	北陸新幹線：糸魚川駅～敦賀駅間(北陸電力送配電供給エリア)		
導入規模	水力	太陽光拡大後	(参考)太陽光拡大前
発電出力	2,000kW	48,000kW	17,000kW
発電電力量	約 1,130 万 kWh／年	約 5,200 万 kWh／年	約 2,000 万 kWh／年
供給開始時期	2030 年頃	2024 年度より順次	
再エネ導入割合※ ₁	供給線区の年間運転用電力量の約 26%相当 (内訳：太陽光 PPA21%、水力 PPA5%)		
CO ₂ 削減量	約 27,800 t /年※ ₂ (一般家庭約 10,700 世帯分相当)		

※₁ 北陸新幹線延伸後の推定電力使用量を基に再計算

※₂ 2023 年度電気事業者別排出係数の全国平均で算出